

常盤松御用邸の貧毛類

石塚小太郎¹⁾

Kotaro Ishizuka¹⁾: Earthworms (Annelida, Oligochaeta)
from the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo, Japan

常盤松御用邸は都心に位置するが、邸内は自然が残されている。国立科学博物館による邸内の動物相の一環として2002年7月17日, 2003年7月25日, 11月7日の3回貧毛類の調査を行った。調査は邸内の, 1) 御用邸西側照葉樹林, 2) 御用邸裏側照葉樹林・塀沿いおよび植え込み生け垣, 3) 御用邸前庭および前庭東側塀沿いの3区域で行った。移植ゴテ, スコップ等で落ち葉等を払いのけたり, 土を掘り返したりして採集し, 標本は土と一緒にポリ袋に入れて研究室に持ち帰り, その日のうちに固定した。

得られた貧毛類は以下に記すように, フトミミズ科フトミミズ属8種, ツリミミズ科ツリミミズ属1種であった。フトミミズ属の2種は未記載種と考えられるが, 分類学的に問題があるため種名は与えていない。

フトミミズ科 Megascolecidae Rosa, 1891

フトミミズ属 *Pheretima* Kinberg, 1867

1. ヘンイセイミミズ *Pheretima heteropoda* (Goto & Hatai, 1898)

御用邸西側照葉樹林, 31. VII. 2002, 3 exs.; 25. VII. 2003, 5 exs.; 7. XI. 2003, 2 exs.; 御用邸裏側照葉樹林・塀沿い, 31. VII. 2002, 1 ex.; 25. VII. 2003, 1 ex.; 7. XI. 2003, 1 ex.

形態的特徴: 体長 90–200 mm, 体幅 3.0–5.0 mm, 体節数 95–150. 体色は背面暗緑灰褐色。受精嚢孔は4対で, 体節間溝 5/6/7/8/9 に存在。腸盲嚢は単純突起状。性徴 (Genital marking) は吸盤状で, 腹面 VII–IX に各1対であるが, その位置や数の変異が多い。生殖腺は胞状。受精嚢は主嚢と副嚢より成る。

日本全国の市街地, 山野に普通に分布する種である。国外では韓国に分布する。

2. フキノクミミズ *Pheretima irregularis* (Goto & Hatai, 1899)

御用邸西側照葉樹林, 25. VII. 2003, 5 exs.

形態的特徴: 体長 60–140 mm, 体幅 5.0–6.5 mm, 体節数 90–110. 体色は背面茶褐色。受精嚢孔は2対で, 体節間溝 6/7/8 に存在するが, 欠く個体が多く変異が多い。腸盲嚢は指状。性徴は小粒状で, 腹面 VI–VIII に各1対であるが, その位置や数は変異が多く, 全欠の個体も多い。生殖腺は瓶状。受精嚢は主嚢と副嚢より成るが, 形態の変異が多い。

日本全国に分布する一般種であるが, 形態の変異が多く, そのために種同定で困難をきたす種である。日本全国の市街地, 山野に普通に分布する種である。

3. フタツボシミミズ *Pheretima masatacae* (Beddard, 1892)

御用邸裏側塀沿い, 31. VII. 2002, 1 ex.; 25. VII. 2003, 2 exs.; 7. XI. 2003, 3 exs.

形態的特徴: 体長 180–250 mm, 体幅 5.0–6.5 mm, 体節数 110–120. 体色は背面茶色。受精嚢孔は

¹⁾ 成蹊高等学校 武蔵野市吉祥寺北町 3–10–13

Seikei High School, 3-10-13 Kichijoji-kitamachi, Musashino-shi, Tokyo, 180–8633 Japan

E-mail: ika@msh.biglobe.ne.jp

2対で、体節間溝 7/8/9 に存在。腸盲嚢は鋸歯状。性徴は吸盤状で、腹面 VII-IX に各1対。生殖腺は瓶状。受精嚢は主嚢と副嚢より成る。

北海道を除く、日本全国に分布する種である。国外では中国、韓国に分布する。

4. ヒナフトミミズ *Pheretima micronaria* (Goto & Hatai, 1898)

御用邸前庭および前庭東側堀沿い, 25. VII. 2003, 4 exs.

形態的特徴: 体長 60-120 mm, 体幅 2.5-4.0 mm, 体節数 60-110. 体色は背面淡赤茶色。受精嚢孔は4対で、体節間溝 5/6/7/8/9 に存在。腸盲嚢は単純突起状。性徴は吸盤状で、腹面 XVIII-XIX に各1対。生殖腺は胞状。受精嚢は主嚢のみで副嚢無。

日本全国の市街地、山野で普通に分布する種である。

5. ハチノジミミズ *Pheretima octo* Ishizuka, 2000

御用邸裏側照葉樹林および植え込み生け垣, 31. VII. 2002, 1 ex.; 25. VII. 2003, 2 exs.

形態的特徴: 体長 70-100 mm, 体幅 3.0-4.0 mm, 体節数 80-110. 体色は背面茶色。受精嚢孔は4対で、体節間溝 5/6/7/8/9 に存在。腸盲嚢は単純突起状。性徴は8の字吸盤状を呈し、腹面 XVII に各1対。生殖腺は胞状。受精嚢は主嚢のみで副嚢無。

東京の日黒自然教育園で採集された個体に基づき Ishizuka (2000) により新種記載された種である。東京では皇居、国立自然教育園、上野恩賜公園、小石川植物園、都立六義園に分布する。

6. イロジロミミズ *Pheretima phasela* (Goto & Hatai, 1898)

御用邸前庭および前庭東側堀沿い, 25. VII. 2003, 2 exs.; 7. XI. 2003, 2 exs.

形態的特徴: 体長 80-150 mm, 体幅 3.5-5.0 mm, 体節数 85-110. 体色は背面淡茶色。受精嚢孔は3対で、体節間溝 5/6/7/8 に存在。腸盲嚢は単純突起状。性徴無。生殖腺無。受精嚢は主嚢副嚢より成る。

関東~北海道に分布し、東京では東京都内、多摩地区、奥多摩等広い地域に分布するが、個体数は多くない。国外では韓国に分布する。

7. フトミミズ属の一種 *Pheretima* sp. 1

御用邸裏側照葉樹林および植え込み生け垣, 31. VII. 2002, 5 exs. 25. VII. 2003, 6 exs.; 7. XI. 2003, 12 exs.

形態的特徴: 体長 65-110 mm, 体幅 2.9-3.6 mm, 体節数 92-105. 体色は褐色。受精嚢孔は2対で、7/8/9 体節間溝に存在。腸盲嚢は鋸歯状。性徴無。生殖腺無。受精嚢は主嚢と副嚢より成る。東南アジア産に類似する既知種があり、その種の記載が不十分であるため検討を要することより *Pheretima* sp. とした。

8. フトミミズ属の一種 *Pheretima* sp. 2

御用邸西側照葉樹林, 31. VII. 2002, 1 ex.; 7. XI. 2003, 1 ex.; 御用邸裏側照葉樹林・堀沿い, 31. VII. 2002, 2 exs.

形態的特徴: 体長 80-170 mm, 体幅 3.0-4.5 mm, 体節数 95-150. 体色は背面暗緑灰褐色。受精嚢孔は4対で、体節間溝 5/6/7/8/9 に存在。腸盲嚢は単純突起状。性徴は吸盤状で、腹面 VII-IX に各1対であるが、その位置や数には変異が多い。生殖腺は胞状。受精嚢は主嚢と副嚢より成る。

東京の各地に分布。この種は同様な形質をもつ種がすでに何種か記載されているが、この記載種の記載について再検討をする必要があるため、*Pheretima* sp. 2 とした。

ツリミミズ科 Lumbricidae Rafinesque-Schmaltz, 1815

ツリミミズ属 *Allolobophora* Eisen, 1873

1. サクラミミズ *Allolobophora japonica* Michaelsen, 1892

御用邸裏側照葉樹林および植え込み生け垣, 7. XI. 2003, 6 exs.

日本全国の市街地、山野に多く分布する種である。

考 察

今回の常盤松御用邸内の貧毛類相の調査結果の特徴として以下の2点があげられる。

1) 日本各地に出現するヒトツモンミミズ *Pheretima hilgendorfi* (Michaelsen, 1892), フトスジミミズ *Peretima vittata* (Goto & Hatai, 1898), ハタケミミズ *Peretima agrestis* (Goto & Hatai, 1899) の3種が採集されなかった。この3種は、都内の小石川植物園、上野恩賜公園、都立六義園、明治神宮敷地内、国立自然教育園では普通に出現する種である。常盤松御用邸内は、この3種が生息できる環境であると考えられるが、これらの種が出現しない明確な理由は不明である。

2) フトミミズ属の一種 *Pheretima* sp. 1 が採集された。本種は、御用邸裏側植木(モチノキ)の根まわりの場所でのみ採集された。この種は植木と一緒に搬入されたものと考えられる。この植木は2001年9月に埼玉県所沢市から移植されたものである。移植元の場所では、この種が採集できるものと推測できるが、未調査である。

謝 辞

本調査に際して、ご配慮やご協力をいただいた宮内庁の職員の方々に心より感謝する。

Summary

A total of 68 specimens of oligochaetes have been collected from 3 stations in the Tokiwamatu Imperial Villa, Tokyo, Japan. They are classified into 8 species of the genus *Pheretima* (Megascolecidae) and 1 species of the genus *Allolobophora* (Lumbricidae). Two *Pheretima* species are considered to be new to science with some systematic problems.

引 用 文 献

- Easton, B. G., 1981. Japanese earthworms: a synopsis of the megadrile species Oligochaeta. *Bull. Br. Mus. nat. Hist., (Zool)*, **40**: 33–65.
- Eisen, G., 1874. Bidrag till Kannedomen om New Englands och Canadas Lumbricider. *Ofvers. K. VetenskAcad. Förth.*, **31**: 41–49.
- Goto, S. & S. Hatai, 1898. New or imperfectly known species of earthworms. *Annotnes. zool. jap.*, **2**: 65–78.
- Goto, S. & S. Hatai, 1899. New or imperfectly known species of earthworms. *Annotnes. zool. jap.*, **3**: 13–24.
- Ishizuka, K., 1999. New species of the genus *Pheretima* s. lat. (Annelida, Oligochaeta, Megascolecidae) from Tokyo, Japan—Part III. Species with simple intestinal caeca (1). *Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo, (A)*, **25**: 229–242.
- Ishizuka, K., 2000. New species of the genus *Pheretima* s. lat. (Annelida, Oligochaeta, Megascolecidae) from Tokyo, Japan—Part IV. Species with simple intestinal caeca (2). *Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo, (A)*, **26**: 13–33.
- Michaelsen, W., 1892. Terricolen der Berliner Zoologischen Sammlung II. *Arch. Nat. Hist. Bul.*, **5**(3): 1–25.
- Oishi, M., 1934. On 3 forma of *Allolobophora japonica* Michaelsen. *Zool. Mag.*, **46**: 133–134. (In Japanese.)
- Song, M. J. & K. Y. Paik, 1971. Earthworms from Mt. Jiri, Korea. *Korean J. Zool.*, **14**: 192–198.